

# 平成 27 年度 SSH 活動記録のページ

## 平成 27 年度 5 月 SSH 活動記録

平成 27 年度 5 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。



### 2015. 05 I テーマ検討回 with 琉球大学

20 日(水)の SSH 探究Ⅱの授業に琉球大学から先生方が来て下さいました。生徒が考えてきた研究テーマを聞いていただき、どのようにすればもっと良い研究になるか等、多くのアドバイスをもらうことができました。生徒達は琉球大学の先生方の前で緊張した様子でしたが、自分たちが考えた研究テーマを発表することで、自分たちの研究テーマの方向性や、他のチームの状況等を確認することができ、現状把握ができたと思います。そして、琉球大学の先生方のアドバイスのおかげで、順調に進んでいるチームはより良い研究に、順調に進んでいないチームは光明が見いだせたと思います。今回は化学と生物のそれぞれの専門の先生方にお越しいただきました。生徒達のチーム数も化学と生物が多いので、今回のテーマ検討会は大きな助けになりました。

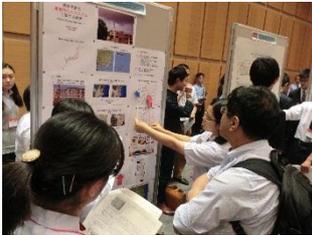


---

## ■ 2015. 05. I 気象学会ジュニアセッション in つくば

去る5月23日(土)、つくば国際会議場において、全17校による日本気象学会ジュニアセッションが開催されました。球陽高校からは、地球科学部2年生3名が「関東平野に発生する竜巻発生メカニズムの研究」の発表で参加しました。

発表時間になると、学会に参加されている気象研究者の方々が所狭しと押し寄せ、次から次へと質問やアドバイスを頂くことができました。先行研究で調べたことがある研究者の方も聴きにきて下さり、PC持参で大学の竜巻発生装置のビデオまで見せて下さいました。学会で発表することは、得るものが多いと実感しました。



### 感想

・今回、ジュニアセッションに参加して、初めてということもあり、緊張や不安でいっぱいでしたが、発表できて良かったです。発表を聞いてくださる方々には、気象庁の方や研究所の方が多く、とても緊張しましたが、みなさん、発表を真剣に聞いてくださり、発表していて楽しかったです。私たちが考えていなかったことなどを質問してくださって、今後の課題もみつきり、とても勉強になりました。

・今回のつくばのジュニアセッション、とても勉強になりました。思っていたよりも多くの方がポスターを見に来て下さったり専門的な意見を下さったりして、少し緊張しましたが、充実した時間を過ごすことが出来ました。今回は時間が少なく、忙しいスケジュールでしたが、また機会があれば他の方々との交流もしてみたいと思います。

---

## 2015.05. | The Ways of the Ants

### Dr. Evan P. Economo, OIST Biodiversity and Biocomplexity Unit

5月28日(木)の放課後、SSラボ室でOISTからDr. Evan P. Economoが来校されました。Evan博士はアリの専門家で、アリを中心に、生物多様性についてもお話してくれました。



### 感想

- ・英語はなかなか理解できなかったので、通訳があつて本当によかったです。通訳なしでも理解できるくらい英語を学ぼうと思いました。
- ・砂漠にいるアリが体の中に蜜をたくわえるアリがいたり、飛ぶアリがいるっていうのを初めて知った。あと女王アリが動くっていうのが驚きだった。
- ・私が思っていた以上に英語を理解でき、楽しかったです。でも、あいまいな所が多かったのもっと英語をがんばりたいです。
- ・自分たちもSSHでアリの調べているのでけっこうアリについて分かった気でいたけど初耳だらけだった。改めて、アリの世界の奥深さを感じることができた。
- ・アリの行動は種類によっては人に似ていると思った。アリをだます方法を使って、SSHに生かせないかなと思った。